

卒業生挨拶

暑さがまだ残る今日この頃、月日の過ぎるのは矢の如く、あっという間に二年が経過しました。本日は、私たち卒業生のために、このような華やかな式を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、学長濱名先生をはじめ、ご多忙の中ご臨席賜りました先生方、職員の皆様方、ならびにご来賓の皆様方に、卒業生一同を代表して心より感謝申し上げます。

振り返りますと、入学後のさまざまな出来事が今でも鮮明に思い出されます。二年前、新型コロナウイルスが世界中に感染拡大していた頃、初めて親や友人を離れ、異国の地に赴くことに対して、不安で胸がいっぱいでした。また、「新型コロナウイルスが留学生活にどのような影響を与えるのか」と心配していました。世界中から集まった留学生たちも、私と同じ気持ちを抱いたことがあると思います。しかし、それでも未来への憧れと海外生活への期待を胸に、私たちは関西国際大学の門を叩きました。入学当初、履修の組み方や経営学の知識に不安を感じ、「これからの二年間、親の助けがなくても自分はやっていけるだろうか」と不安や戸惑いがありました。しかし、実際にはこれらの心配は杞憂に終わりました。先生や先輩方のご指導とご支援のおかげで、私は新しい環境にすぐに適応できただけでなく、世界中から集まった学生たちと共に学び、成長することができました。そして、大学での学びに刺激を受け、私は簿記資格の取得に向けて努力を重ねました。

関西国際大学は「知性あふれる学問の場」として、建学以来「以愛為園」の精神を具現化し、「世界的視野に立ち、人間愛にあふれ、創造性豊かで行動力のある人間の育成」を目指し、「教育基本法および学校教育法に基づき、グローバルな視野を持った教養を基礎とする専門知識・技術を修得し、安全な社会やコミュニティづくりに向けて総合的に活用できる人材を育成する」という教育目標を掲げています。この二年間、関西国際大学での生活を通じて、多くの素晴らしい思い出と経験を得ました。授業の開始・終了時のチャイムの音、先生方との挨拶、そして学生たちと共にあったグループディスカッションなどの光景は、今でも心に鮮明に残っています。悔しいこともあったかもしれませんが、これらの経験は間違いなく私たちの大学生活を豊かにし、将来社会に出るための確かな基礎を築きました。名残惜しいですが、本日、卒業式を迎えました。しかし、「すべての終わりは新たな始まりです」。今の私たちは、どのような困難に遭遇しても、先生方のご教示を肝に銘じ、自律的で主体的な態度を持ちながら、社会に能動的に貢献する姿勢で勇敢に立ち向かうことができると信じています。

最後になりますが、今日まで温かく見守りご指導いただきました教職員の皆様、支援してくれた家族、友人に心より御礼申し上げます。皆様方のご健康と、関西国際大学のさらなるご発展を祈念いたしまして、卒業生代表あいさつとさせていただきます。

2024年9月13日

秋卒業生代表 経営学部 経営学科